



第300号

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

発行所 / (一社) 静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207
TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113
発行者 / 三宅 和秀 編集責任者 / 鈴木 雅人 発行日 / 平成27年3月1日 印刷所 / 小林クリエイト(株)

祝

300号!!

3月号の内容

- ◆ 日臨技中部圏支部 医学検査学会 ホームページのご案内 …… 1
- ◆ 研修会終了報告 …… 2～4
- ◆ 平成27年3月・4月・5月行事予定 …… 4
- ◆ 研修会・講習会案内 …… 5～6
- ◆ 会員の異動 …… 7

平成27年度日臨技中部圏支部 医学検査学会ホームページのご案内



平成27年度 日臨技中部圏支部 医学検査学会(第54回)のホームページが立ち上がりました。9月の開催に向けて種々な情報を更新しています。静臨技ホームページのバナーからアクセスできますので是非ご覧ください。

学会ロゴマーク



守破離
平成27年度 日臨技中部圏支部
医学検査学会

平成27年度 日臨技中部圏支部 医学検査学会(第54回)

学会テーマ **守破離**

～ 臨床検査技師の目指す道、基本と今と未来を考える ～

— シミュレーションからイノベーションへ —

学 会 長 / 三宅 和秀 JA静岡厚生連 清水厚生病院 一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会長
 実行委員長 / 山口 浩司 聖隷三方原病院 一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 副会長
 事務局長 / 園田 明広 静岡県立総合病院 一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 副会長

主 催 / 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会中部圏支部 担 当 / 一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

会 期 2015年 9/26(土) 27(日)

会 場 静岡県コンベンションアーツセンター (グランシップ)

新着情報!!

- 2015.02.04 「アクセス」を更新しました。
- 2015.01.31 「後援申込書」を掲載しました。
- 2015.01.31 「送検依頼書」および「送書票」を公開しました。
- 2014.10.30 「部門企画」のご案内掲載しました。

【学会準備室】
聖隷三方原病院 臨床検査部
〒420-8558
浜松市北区三方原町9453
TEL. 053-436-1251(代表)
FAX. 053-437-4600

【学会事務局】
静岡県立総合病院 検査部
〒420-8557
静岡市東区北安東4丁目27番1号
TEL. 054-247-6111(代表)
FAX. 054-247-6140

【運営事務局】
株式会社 ディスタンス・インターナショナル
〒420-0063
静岡市東区道車町7-6
TEL. 054-271-1015

研修会終了報告

事業名：平成 26 年度 日臨技中部圏支部生物化学分析部門研修会

開催日：平成 27 年 1 月 24 日（土）～1 月 25 日（日）

会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ 大会議室

参加人数：112 名（実務委員：19 名）

日臨技中部圏支部生物化学分析部門の研修会として、各県からたくさんの応募があり、大規模な研修会を行う事が出来ました。「疾患ガイドラインを理解しよう」をテーマに様々な角度から講師の先生方に講演していただくことが出来ました。

1 日目の採血手技に関する注意点、標準採血法ガイドラインのポイントなど改めて見直す事が出来ました。血液ガスでは各項目の臨床的意義やデータの見方まで丁寧に説明していただき、自動分析装置におけるトラブルではエラー時の考え方やトラブル時の対応を、標準化事業活動からは意見交換会から出た実際の日常検査で出た異常事例を元に正確な検査結果の臨床へ提供する重要さを学びました。「見逃されやすい補助栄養 水と電解質」では袴田先生に尿の電解質の重要さや症例を見ながら検査数値の見るポイントをわかりやすく教えていただきました。

2 日目の「自己免疫疾患のガイドラインでは小川先生に診療ガイドラインをわかりやすく説明していただき、臨床での運用も知ることが出来ました。「疾患ガイドラインを読む、臨床検査が果たすべき役割」ではガイドラインやエビデンスに基づいて診療を行っている臨床に対して検査技師がどのようにアプローチして行くべきか前川先生にお話していただきました。

今回の研修会は採血から業務中のエラーの対応や臨床側への検査技師のアプローチの仕方など新人から配属年数の多い方まで興味深い講演だったと思います。研修会を生かして、より臨床側に貢献出来るよう考える事の出来る有意義な研修会であったと思います。



研修会終了報告

事業名	平成 26 年度 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会
開催日	平成 27 年 1 月 17 日 (土) ～1 月 18 日 (日)
会 場	静岡県立総合病院 つつじホール
参加人数	51 人
内 容	<p>臨床検査技師が検査説明・相談をするその意義を知ること。患者さんと接するために押さえておかなければならない基本を学ぶことを目的に開催しました。51 名と多くの方々に参加していただきました。</p> <p>患者さんの心理や接遇、検査データの読み方など多岐にわたる充実した内容で、受講した皆さんが患者さんの気持ちに寄り添い、心のこもった接し方ができるような何かしらの気づきがあればと思います。</p> <p>普段患者さんと接することの少ない臨床検査技師が新たな一歩を踏み出す講習会になったと感じています。</p>
	  

事業名	第 15 回静岡血液フォーラム
開催日	平成 27 年 2 月 8 日 (日)
会 場	静岡市立静岡病院 12F 講堂
参加人数	154 人
内 容	<p>今年で 15 回目となる静岡血液フォーラムですが、例年と変わらず、定員 150 名を超える多くの方の参加のもと開催することができました。</p> <p>今年は『血液担当技師としてのスキルアップをしよう！』をテーマに、血算や血液像については基本的な考え方を、血液疾患についてはリンパ腫の基礎知識を、凝固検査については NOAC に関する最近のトピックスを、さらに NST にも深く関わる微量金属に関するものなど、幅広い内容を講演していただきました。</p> <p>初心者からベテランまでスキルアップを実感できる研修会であったと思われれます。</p>

研修会終了報告

事業名	静岡県標準化事業 第13回 東部地区意見交換会
開催日	平成 27年 2月 13日 (金)
会 場	三島市民文化会館 第一会議室
参加人数	35人
内 容	<div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>金曜夜の研修会でしたが35名の参加をいただきました。1演題目は、経験年数2年目の土屋技師より、「メーカーの異なる分析器を使いこすために」というタイトルで、施設の運用状況と各々分析装置の特徴、日常業務で困っていることを発表していただきました。</p> <p>若手技師さんのすばらしい発表内容と態度に今後の活躍が期待できます。</p> <p>2演題目は松尾先生より、「ナトリウムと水のバランス」についてご講演いただきました。</p> <p>細胞・間質・血管のイラストを使った水移動の説明や、Na ボリュームと水ボリュームの関係グラフを使って低Na ライン・高Na ラインよりNa と水のバランス・予想される疾患など、非常にわかりやすくご講演いただきました。また、参加者からの質問にも多数お答えいただき、日常疑問に思っても聞けずいた様々な事象が先生の分かりやすい回答で納得することができました。大変有意義な内容でした。</p> </div> </div>

平成27年3月・4月・5月の行事予定

3月

- 1日 (日) 第54回 静岡県病院学会 : グランシップ
- 10日 (火) 平成26年度 第5回 静臨技常務理事会・第9回理事会 : 静臨技事務所
- 14日 (土) 平成26年度 第3回 病理細胞研修会 : 静岡市産学交流センター
ペガサート
- 平成26年度 第4回 臨床微生物部門研修会 : 同 上

4月

- 4日 (土) 平成27年度 静臨技 学術部門長会議 : あざれあ
- 6日 (月) 静臨技監査 : 静臨技事務所
- 11日 (土) ~ 12日 (日)
検体採取等に関する厚生労働省指定講習会 : 名古屋市立大学
- 16日 (木) 平成27年度 第1回 静臨技常務理事会・第1回理事会 : 静臨技事務所
- 25日 (土) 平成27年度 第1回 臨床血液部門研修会 : 静岡市立静岡病院

5月

- 24日 (日) 第8回寄生虫検査・実習研修会 : 浜松医科大学

臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 27 年 2 月 15 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。
各研修会の詳細については、別紙の【研修会案内】をご確認ください。

平成 27 年 (3) (敬称略)

<p>平成 27 年 3 月 14 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>ペガサート 7F 大会議室</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p align="center">平成 26 年度 第 4 回 臨床微生物部門研修会</p> <p>テーマ： 微生物の集計とプレゼン方法を学ぶ</p> <p>① 『英文サマリーを読んでみよう』 事前に静臨技微生物部門 HP に使用するサマリーを指定いたします 『微生物の集計教えます』 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 立野 裕子 先生 ※ノート PC をお持ちの方はご持参ください</p> <p>② 『学会演題発表のための抄録執筆とプレゼンテーションのポイント』 東京医科大学 微生物学教授 大楠 清文 先生</p>	<p>No. (140033034) 微生物－専門－20 点</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>臨床微生物部門 石原 美弥子 焼津市立総合病院 Tel 054-623-3111 内線 2271</p>
<p>平成 27 年 3 月 14 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>ペガサート 6 階 B-nest (ビネスト) プ レゼンテーション ルーム</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p align="center">平成 26 年度 第 3 回 病理細胞部門研修会</p> <p>テーマ： 肺癌におけるコンパニオン診断と治療</p> <p>14 : 00~15 : 00 講演『EGFR 変異陽性の肺腺癌について』 講師 ロシュ・ダイアグノスティックス (株) 小林 義明 先生</p> <p>15 : 00~16 : 00 講演『免疫染色による ALK 融合遺伝子陽性肺癌の診断』 講師 (株) ニチレイバイオサイエンス 長嶋 健二 先生</p> <p>16 : 00~17 : 00 講義『肺癌治療における EGFR 阻害剤と ALK 阻害剤の有用性』 講師 中外製薬 (株) 荻野 記世子 先生</p> <p>肺癌における免疫染色や遺伝子検査から治療について、最新的话题を講演していただきます。多くの検査技師の皆様の参加をお待ちしております。</p>	<p>No. (140033900) 病理－専門－20 点</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>病理細胞部門 聖隷浜松病院 臨床検査部 福田 淳 E-mail a-fuku@sis.seirei.or.jp TEL : 053-474-5875</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (2)

<p>平成 27 年 4 月 25 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡市立静岡病院 12F 講堂</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;">平成 27 年度 第 1 回 臨床血液部門研修会</p> <p>テーマ： 末梢血液検査の基礎をマスターしよう</p> <p>1. 自動血球計数装置の基礎 『自動血球計数装置のデータを正しく読もう!』 独立行政法人 地域医療機能推進機構 桜ヶ丘病院 岡根谷 知美 技師</p> <p>『スキヤッタグラムの見方』 浜松医療センター 渡邊 正博 技師</p> <p>2. 末梢血液像の基礎から実践 『末梢血液像観察のポイント』 ～ 基礎的な見方・所見のとり方 ～ 聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査部 血液検査室 井本 清美 技師</p> <p>今回は自動血球計数装置のデータとスキヤッタグラムの見方、考え方についての講演と、末梢血液像の基礎ということで、血液像の見方・所見のとり方について講演していただきます。</p> <p>日当直のみ血液自動分析装置を使用される方々や、新しく血液担当になられた方もぜひ御参加下さい。</p> <p>事前申し込み不要。 当日、直接会場にお越しください。</p>	<p>No. (150000354) 血液-専門-20 点</p> <p>【問い合わせ先】 臨床血液部門</p> <p>独立行政法人 地域医療機能推進機構 三島総合病院 臨床検査部 大橋 勝春 TEL 055-975-5545</p>
---	---	---

研修会・講習会の詳細は、開催案内やホームページでご確認下さい

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部 (編集責任者) 鈴木雅人まで suzuki_masahito@sh.city.fuji.shizuoka.jp

会報 2 月号 (抜粋カラー版) をホームページに掲載しましたので是非ご覧ください。